



群馬県吉岡町議会

よしおか

議会だより

No.110

2016.1.22



12月定例会

出初式

一般会計補正予算 福祉関係の充実に向けて

2

一般質問 9人が町政を問う

6

視察リポート 地熱発電と男女共同参画の先進地に学ぶ ほか

16

第4回 定例会

平成27年第4回定例会は、12月4日から17日まで、14日間の会期で行いました。
今定例会では、議案12件が提案され、いずれも原案どおり可決しました。
また、損害賠償の額の決定および和解の専決処分について3件の報告がありました。



吉岡町子育て支援センター（漆原）

一般会計補正予算

福祉関係の充実に向けて

歳入歳出それぞれ497
1万円を追加し、総額67億
5471万円としました。

歳

出

歳

入

歳入の主な補正は、国庫
支出金963万円、県支出
金1062万円、財産収入
168万円、繰入金171
8万円、諸収入341万円
町債720万円の追加など
です。

歳出の主な補正は、障害
者福祉費910万円、医療
福祉費1025万円、児童
手当費360万円、児童保
育費450万円、母子衛生
費348万円、道路維持費
283万円、消防費351
万円、明治小修繕費109
万円、中学校教育振興費94
万円、体育施設補修工事費
580万円などの追加で
す。

全会一致で可決



工事が予定されている明治地区児童屋内体育施設

吉岡町税条例の一部改正

旧3級品たばこ段階的値上げへ

改正の主な内容は、次の4点です。

に伴う改正

○ 地方税の特例措置について、国が一律に定めていた内容を、地方

○ 旧3級品たばこの特例税率を4年間で段階的に縮減・廃止すること

○ 地方税における猶予制度について、一定の事項を条例で定める仕組みとしたこと

この改正は、地方税法などが一部改正されたことによるものです。

○ マイナンバー制度開始

自治体が条例で決定できるようにする仕組みに、「サービス付き高齢者向け住宅」を追加

賛成14 反対1で可決

吉岡町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の制定

マイナンバーの利用に向けて

マイナンバー制度が開始されたことにより、10月

番号を利用した情報連携が始まります。

まちでも、法律によつて条例で規定するとされた事項を定めた条例を制定すること、個人番号

の利用や特定個人情報の提供が可能となります。

社会保障・税番号制度

が導入されることによつて、行政事務の効率化や公平公正な社会の実現が期待されるとともに、行政手続の簡素化が図られることから、国民の利便性向上につながることも期待されます。

賛成14 反対1で可決

12月

平成27年度 各会計別補正予算の状況

(万円未満は四捨五入)

会計名	補正額	補正後の予算額
一般会計	4,971万円	67億5,471万円
農業集落排水事業	85万円	1億6,284万円
介護保険事業	△831万円	13億4,941万円
後期高齢者医療事業	44万円	1億6,575万円
水道事業会計		
収益的支出	14万円	4億1,047万円

委員会 審査

私たちが慎重に チェック

総務

社会体育館改修費の増額

一般会計補正予算を含め、条例の一部を改正する条例など、議案6件について審査しました。

一般会計補正予算

問 社会体育館改修事業費450万円の増額は、

答 足場を組み点検した結果、外壁にひびが入っていることが判明したので、追加で工事することにした。

問 私立保育所施設整備補助金450万円の増額は、

答 0、1歳児の入所希望が増えたので、地域子育て支援センター棟床暖房工事などの補助金を追加。

問 総務費で防犯カメラ費の約100万円の減額は、



改修中の社会体育館（南下）

答 地方創生交付金で予算が計上されたので総務費を減額。

問 障害児通所支援858万円の増額は、

答 児童発達支援が2人、放課後等デイサービスが5人増えたため。

問 母子衛生費350万円の増額は、

答 2千円以下の未熟児などに対する養育医療費を増額したため。

教厚 文厚

マイナンバーを申請書へ記入（介護保険）

議案3件について審査しました。

介護保険条例の一部改正

問 条例改正の内容は、

答 保険料の徴収猶予・減免申請でのマイナンバー記入が義務付けられたため。

介護保険事業特別会計

問 介護慰労金の減額は、

答 介護保険制度では該当要件が厳しくなるため、一般会計で制度を継続したい。

後期高齢者医療事業特別会計

問 人間ドック補助金増額とは、

答 当初見込みより、受診者が増加したため。

産業 建設

よりよい環境を目指して

委員会付託された、下水道条例の一部改正、平成27年度農業集落排水事業特別会計補正予算、平成27年度水道事業会計補正予算について審査しました。

下水道条例の一部改正

問 改正される内容は、

答 水質汚濁防止法施行規則の一部が改正されたため。トリクロロエチレンの基準値が、1リットルにつき0.3ミリ以下から、同0.1ミリ以下に変更。

問 今回規制が厳しくなった、トリクロロエチレンとは何か。

答 ドライクリーニン、グア、機械・金属などの洗浄に使われる物質。吸入すると肝臓、腎臓、中枢神経の機能障害を起こす。

賛成…○ 反対…× 欠席…欠 退席…退 除斥…除

議案名			結果			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
			賛成	反対	議決結果	富岡大志	大林裕子	金谷康弘	五十嵐善一	柴崎徳一郎	竹内憲明	高山武尚	村越哲夫	坂田一広	飯島衛	岩崎信幸	平形薫	山畑祐男	馬場周二	小池春雄	岸祐次
議案	第62号	吉岡町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部改正	15	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第63号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正	15	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第64号	吉岡町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の制定	14	1	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
	第65号	税条例の一部改正	14	1	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
	第66号	印鑑登録及び証明に関する条例の一部改正	14	1	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
	第67号	介護保険条例の一部改正	14	1	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
	第68号	下水道条例の一部改正	15	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第69号	一般会計補正予算(第3号)	15	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第70号	農業集落排水会計補正予算(第2号)	15	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第71号	介護保険会計補正予算(第2号)	15	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第72号	後期高齢者医療会計補正予算(第2号)	15	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第73号	水道会計補正予算(第2号)	15	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長は採決に加わらないため「－」で表示

一般質問

議員9人

町政を問う

12月定例会の一般質問は8日および9日に行われました。

紙面の都合により要約してお伝えします。

なお、詳しい内容は吉岡町図書館に備えてある
会議録で確認できます。

また、平成21年第1回定例会以降の会議録は、
吉岡町ホームページでもご覧になれます。

一般質問は、議員の日常活動と
調査・研究、住民の声や自身の考えをもとに、
町長の方針を問うものです。

吉岡町では、質問および答弁をあわせて、
1人60分の持ち時間があります。

■大林 裕子議員（7ページ）

1. 子育て支援について
2. 船尾滝周辺の整備について（観光を含む）
3. 高渋バイパスについて
4. 南下古墳群について

■金谷 康弘議員（8ページ）

1. 子育て支援事業について
2. 学校教育について
3. 地域問題について

■竹内 憲明議員（9ページ）

1. 防災対策について
2. ガン検診について
3. 18歳選挙権適用に伴う取り組みは
4. 公園管理運営について
5. 通学路整備について

■村越 哲夫議員（10ページ）

1. 防災及び災害について
2. 高齢者について
3. 道路網及び交通事故対策について
4. いじめについて
5. 地域問題について
6. 姉妹都市締結について

■柴崎 徳一郎議員（11ページ）

1. 町職員等への心と身体への健康対策は
2. 地域包括ケアシステム構築への進捗は
3. これからの町農業政策の展開は
4. 地域課題について

■山畑 祐男議員（12ページ）

1. 男女共同参画について
2. まちの地域包括ケアシステムについて
3. 通学路の安全について
4. 町の防災・災害対策について
（危険個所の改修含む）
5. 地方創生と30年後を見据えた町づくりについて

■五十嵐 善一議員（13ページ）

1. 子育て支援策について
2. 高齢者等の生きがいづくりについて
3. 安心・安全な町よしおかの実現に向けて
4. 未来を見据えた町づくりについて

■小池 春雄議員（14ページ）

1. 就学援助制度の現状と改善
2. 子供の貧困対策
3. いじめ防止対策条例の制定
4. 介護保険問題

■坂田 一広議員（15ページ）

1. 町の財政について
2. 社会資本の老朽化対策について
3. 関越自動車道側道について

インターネット配信中です

本会議の様子を生中継、録画でも配信。

アクセス方法は

吉岡町議会

検索



大林裕子 議員

子育て支援の場を広げては

答 保健センターを拠点に進めたい

問 まちの出生率は。

答 総務政策課長 合計特殊出生率は、平成20から24年では

1・49。国、県、近隣市町村より高い。

問 まちの子育て事業、相談事業の現状は。

答 健康福祉課長 保健センター、児童館、第4保育園の地域

子育て支援、民生委員の子育てサロンなどの支援活動がある。26年度の心理士への相談は、1年間で155件。核家族化の中、母親が一人悩むケースが多い。

問 ふらりと寄り、悩みを相談できる支援の場を広げては。

答 健康福祉課長 保護者の精神的負担を解消できるよう、保健センターを拠点に進めたい。

問 船尾満整備の現状は。

答 町長 県の治山事業を要望し、周辺の保護を図っている。

問 渋川市との連携協定の船尾満の位置付けは。

答 町長 観光トライアングルの観光スポットとして整備していきたい。

問 役場に観光に特化した部署をつくり、体制強化が必要ではないか。

答 産業建設課長 町民と一体となり、地域をPRするとの意識をもち、進めたい。

小倉工業団地の今後は

企業を誘致できる環境をつくりたい

問 高崎渋川バイパス開通後、小倉工業団地は流通面でも利便性が向上すると思うが、まちの考えは。

答 町長 道路網が整備され発展が見込まれると思う。企業を誘致できる環境を整えたい。

問 工業団地を通る、町道庚申塚5号線

答 産業建設課長 町民と一体となり、地域をPRするとの意識をもち、進めたい。

を拡幅できないか。

答 町長 渋川市と連携して有効な道路になるよう努力したい。

問 南下古墳群をどう捉えているか。

答 町長 県内でも貴重な遺跡。町民、県内外の人に見てもらいたい。



親子で楽しく（吉岡町子育て支援センター）

合計特殊出生率

一人の女性が一生の間に産む子どもの数。

観光トライアングル

駒寄スマートICの大型化を進め、渋川・伊香保・吉岡の観光トライアングルを形成する構想。

ミニ解説



金谷康弘 議員

幼児を預けてまでも働きたい

答 3歳未満児受け入れを拡大する

問 9月の補正予算で児童保育費が1億2千万円増額。低年齢児数が増えている。対応は。

答 町長 駒寄幼稚園に「認定子ども園」として増床し、3歳未満児を受け入れ予定。

問 保育園は保育士、幼稚園は幼稚園教諭の資格で、認定子ども園は両方の資格が必要と聞か。

答 健康福祉課長 駒寄幼稚園の教諭は、保育教諭で両方の資格をもっている。

問 就学前児童が増えている。子ども・子育て支援事業計画の見直しが必要では。

答 教育委員会事務局 長 2人のスクールカウンセラーが、小・

答 健康福祉課長 特に0歳児の見込みが既に超えているので、子ども・子育て会議を開催し、変更したい。

問 教育現場に、新聞を授業に活用するNIEの応用を。

答 教育委員会事務局 長 県内には9校の実践指定校があり、この実践報告を待ち、検討してみたい。

悩む児童生徒に救いの手を

スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーを大いに活用したい

問 小・中学校におけるスクールカウンセラーの配置・活動状況は。

答 教育委員会事務局 長 2人のスクールカウンセラーが、小・

問 学校教育現場における複雑な問題に対応する、スクールソーシャルワーカーの活用状況は。

答 教育委員会事務局 長 必要に応じて来てもらう。今年2回依頼、積極的に活用したい。

問 滝ノ沢川の土砂災害警戒区域内、土石流発生の危険性は。

答 町民生活課長 上流部の砂防ダムで対応している。

問 利根川右岸の川原田不動尊東崖部分、大きな広葉樹の根が露出している。大変危険である。

答 健康福祉課長 駒寄幼稚園の教諭は、保育教諭で両方の資格をもっている。



台風で倒れたら？（川原田不動尊東崖部分）



竹内憲明 議員

宮田沼橋信号機に歩行者用信号機の早期設置を

答 この場所は設置予定になっている

問 通学路になつてい
る宮田沼橋は、関

越自動車道の側道であ
り、朝夕のラッシュ時
は車の交通量が多い。
登下校時には横断する
のにはとても危険であ
ると考えるが。

答 町長 まちでは平
成26年度に歩行者
用の信号機2カ所の要
望を受けているが、こ
の場所については設置
予定になっている。

問 18歳選挙権適用に
伴う取り組みは。

答 教育委員会事務局
長 現在の吉岡中
では生徒会役員選挙で
実物の「投票箱」を使
い投票している。

問 まちでは18歳・19
歳の選挙権を与え
られる人数は。

答 総務政策課長 平
成28年夏の参議院

議員選挙では、18歳が
203人、19歳が21
1人で合計414人を
想定している。

ふるさと公園の

ローラーすべり台の撤去後は

それ以外に代わるものを検討

問 ふるさと公園のロ
ーラーすべり台の
撤去後の考えは。

答 教育委員会事務局
長 跡地には芝を
植え、ローラーすべり
台に代わるものを現在
検討している。

問 災害時の移動用発
電機およびその他
の機器は。

答 町長 持ち運びの
できる発電機およ
び投光器が12基ある。
また、各種災害用備品
は毎年補充。非常用電
源については検討して
いきたい。

問 がん検診について
県の受診率と比較
すると。

答 健康福祉課長 大
腸がん検診は、ほ
ぼ同様だが、肺がん・
子宮頸がん検診は、や
や低い傾向。胃がん・
乳がん検診は高い受診
率となっている。ただ
し、平成27年度は県平
均よりも高い受診率と
なる予想。



歩行者用信号機の設置が待たれる宮田沼橋信号機



村越哲夫 議員

吉岡バイパスの延伸は

答 県にも粘り強く要望を続けている

問 交通事故防止対策は。

答 町長 信号機の設置、交通規制の実

施、危険箇所の見回り、看板の設置による注意喚起を実施。

問 吉岡バイパスの、高渋バイパスまでの延伸計画は。

答 町長 高崎渋川バイパスや南新井前

橋線の整備に取り組んでいる。県にも粘り強く要望を続けている。

問 園児のいじめ問題と幼児からの情操教育の取り組みは。

答 健康福祉課長 園児のいじめについては報告を受けていない。

教育委員会事務局長

幼児期の情操教育には、0歳児の10カ月健診の時に「ブックスタート」事業を行っている

る。また、町内の保育園・幼稚園へ、毎月、紙芝居を配達し読み聞かせを行っている。

集会施設にAED設置を

自治会振興補助金で対応してほしい

問 各自治会の集会施設にAEDを設置

できないか。

答 町長 町内では14カ所設置。集会施設については、自治会

振興補助金で対応してほしい。

問 まちが各自治会に期待している自主

防災組織の理想像と

は。

答 町民生活課長 災害時には、各自治会での自助共助のもと初期行動をしていた

きたい。

問 地域連携協定締結について、現在の

状況は。

答 町長 渋川市と締結し、両市町がお

互いに連携していくことを確認。主要地方道の延伸やJR八木原駅

周辺整備その他、2市町が必要と認める事項を実施していくこととなる。

問 Lアラート（災害情報共有システム）を導入し、災害時に情報を住民に伝えられないか。

答 町民生活課長 県で運用に向けて準備中、まちでも実施に向けて検討したい。

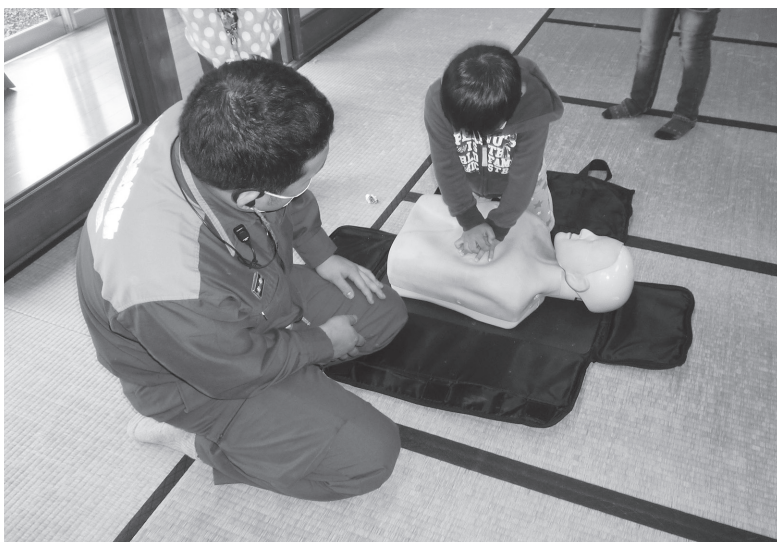
問 高齢者見守のための充実策は。

答 町長 まちでは、地域福祉計画を策定中。自治会や隣組での共助の役割が、生活

支援への活性につながると考える。

問 災害時要支援者の登録状況は。

答 町民生活課長 自治会長を経由し届出。現在、登録人数は65人。



自治会による防災訓練（下野田）



柴崎徳一郎 議員

農業政策への展望は

答 実態に合わせた政策展開を考える

問 これからのまちの農業政策の展望は。

答 産業建設課長 国の示す政策を基本に、まちの実態に合わせた政策展開を考える。

問 TPPへの対応策は。

答 町長 国からの発信情報収集で適宜進めていく。

問 新JA吉岡支所との連携策は。

答 町長 まち農業者を代表する組織として期待している。

問 農業委員会組織改編への対応は。

答 産業建設課長 改正法に適正に対応し、所要の条例改正などを進める。

問 地域包括ケアシステム構築への道筋は。

答 町長 仮称渋川地区在宅医療介護連携支援センターの、平成29年度本稼働を目指す。

まち職員などの心と身体への健康対策は

健康相談・精神的健康診断検査を実施

問 まち職員などの心と身体への健康対策は。

答 総務政策課長 平成28年度から実施予定。

問 総務政策課長 健康相談・精神的健康診断検査を実施している。

答 町長 吉岡バイパス・南原線延伸で渋川市と連携協定を結ぶ。また、社会経済情勢やバイパス開通に伴う車の交通事情を踏まえて、計画見直しも考えている。

問 職員へのストレスチェック制度が義務化されるが。

答 町長 平成26・3年度、取得率26・3割。

問 嘱託・臨時職員などへの健康づくり対策は。

答 総務政策課長 正規職員同様に、健康対策への情報提供をしている。

問 漆原地域の道路ネットワーキング推進は。

答 町長 吉岡バイパス・南原線延伸で渋川市と連携協定を結ぶ。また、社会経済情勢やバイパス開通に伴う車の交通事情を踏まえて、計画見直しも考えている。

問 漆原地域の自然環境資源の利活用を。

答 総務政策課長 天神公園内の外灯に、マイク口水力発電システム整備を検討している。



赤城おろしの中、農耕作業に精を出す



山畑祐男 議員

男女共同参画の現状は

答 計画策定への検討を実施予定

問 男女共同参画について、まちの現状と対応は。

答 町長 まちでは、男女共同参画計画

策定には至っていない。昨年、県の研修会に参加し、策定に向けた検討を今後、実施予定。

問 地域包括ケアシステムについての方針は。

答 町長 重度な要介護状態となっても、住み慣れた地域で暮らせるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を、平成30年までに実施するこ

とになっている。

健康福祉課長 ワーキング形式の会議、座談会などを開催しながら、地域の理解を求めたい。

医療との関係では、渋川圏域の市町村が医師会に委託し、医師会が運営する、支援センターと連携を図る方法で考えている。

問 通学路の危険箇所の把握と対応はどのようになっているか。

答 教育委員会事務局 長 年度当初に、

PTAからの指摘により、小学校が教育委員会へ要望書を提出。まちは、現場を確認し、緊急性の高いところから順次対応。

問 防災用備品の備蓄倉庫を自治会ごとに設置できないか。

答 町民生活課長 現在6カ所に設置済み。まちが管理しているが、早急に全自治会に設置して、各自治会に管理してもらいたい。

問 政府は、地方をあらゆる面から元気づける策として、地方創生を打ち出した。地方創生に向けた戦略は策定されているのか。

答 町長 「吉岡町人口ビジョン及び総合戦略(案)」を議会と「まち・人・しごと創生推進会議」に素案を示し、年末にはパブ

防災用備品の備蓄倉庫を各自治会に

早急に全自治会に設置したい

問 まちの防災に対する対策は。

答 町長 13自治会のうち12自治会で防

災組織が作られた。すべての自治会で防災組織ができたら、全体の防災訓練を行いたい。



早期に改善が求められる通学路（漆原地区）

リックコメントを実施予定。2月中旬には策定を完了予定。

ミニ解説

パブリックコメント 基本的な政策などの策定の際、町民などから意見を公募する制度。



五十嵐善一 議員

病児・病後児保育の充実を願う

答 小学3年生まで対象を拡大

問 病児・病後児保育の現状と対応策は。

答 町長 小学3年生まで対象を拡大。

問 父子手帳の活用を。

答 町長 父親の心の準備などが書かれた「イクメンビギナー必携ノート」をパパママ学級で配布。イクメン読本として活用したい。

問 学童クラブ充実は。

答 町長 新支援制度により高学年も対象。中央学童を新設。さらに駒寄小周辺で模索中。明治小の状況も考慮し、計画的に進めたい。

問 子どもの貧困対策への取り組みは。

答 教育委員会事務局 長 全国的な問題であるので、国の基準に基づき支援している。

問 農福連携事業の積極的推進を。

答 町長 町内の農業活動の作業所で、障がい者の方が約20人参加。

問 子どもと年配者のふれあい事業の推進を。

答 教育委員会事務局 長 昔遊び・花いっぱい運動など、学校教育と生涯学習の両面で交流を推進。

問 健康福祉課長 保育園で農業に携わる高齢者と交流事業を実施。

問 河川などの、自然環境の保全策は。

答 産業建設課長 地域の協力を得、地域と一体となった保全に努めていきたい。

問 町情報の積極的な公開と提供をするガイドブックを作成・配布したらどうか。

答 町長 経費面や重要度を検討し、町民のニーズをとらえ、情報発信の工夫をした。

問 犯罪被害者支援への取り組みは。

答 町長 大型道路の整備と人口増により、犯罪も増える予想。県などと連携し、まちの犯罪被害者相談

窓口について、周知を図っていきたい。

問 積極的な婚活支援を。

答 町長 個人の問題でもあり、十分検討し方向性を出したい。

「道の駅よしおか温泉」 一帯のさらなる活性化を

既存施設の活用も考慮し、総合的に検討

問 「道の駅よしおか温泉」一帯の、さらなる活性化を。

答 財務課長 既存施設の活用も考慮し、総合的に検討。



自然環境の保全が求められる吉岡川（漆原地区）



小池春雄 議員

就学援助制度の支給対象を広げられないか

答 現状を維持したい

問 子どもの貧困が増えている。まちの就学援助制度の現状と充実策は。

答 教育長 対象者は、生活保護法に規定されている保護者、準要保護者、住民税の非課税者などだ。対象経費は、学用品、通学用品、修学旅行費、学校給食費など。周知方法としては、モデルケースを示して、全保護者に通知している。

問 生活保護世帯に近い低所得者世帯の負担を軽減するため、支給対象を広げられないか。

答 町長 当面の間は現状を維持したい。

問 「子供の貧困対策の推進に関する法律」が平成25年6月26日に公布された。この法律に基づくまちの実施策は。

答 町長 県では、推進計画の策定に当たり、社会福祉審議会を設置し、平成27年7月に第1回の会議が開

催され、その概要が発表された。まちでは、以前から福祉医療の中学生までの無料化や保育料の低額化、要保護・準要保護者への教育支援などにより、支援策を講じてきた。今後多岐に検討し、進めたい。

まち独自の奨学金制度は

考えていない

問 支援制度として、奨学金制度はどう

答 町長 国などが奨学金制度を設けて

いることから、まちでは考えていない。

問 「いじめ防止対策推進法」で地方公共団体が置くことがで

きると定める「いじめ問題対策連絡協議会」をまちでも設置すべきでは。

答 町長 この法は、いじめの防止などの対策を推進するため、基本理念を定め、国や地方公共団体の責務を明らかにし、基本的な方針の策定について定めるのが趣旨だ。

文科省は、国のいじめ防止方針を参考に、地域の実情に応じた、いじめ防止方針の策定に努めるとする。まちでも策定に向けて準備を進めている。

教育長 方針の内容は、基本認識、未然防止、早期発見、早期解

消などになると考える。



真剣に学ぶ生徒たち（吉岡中）



坂田一広 議員

財務4表によるまちの財政状況は

答 プライマリーバランスは1億円の黒字

問 国が要請する新地方公会計制度の趣旨は。

答 町長 現行の会計制度では、所有する資産の現在の価値や減価償却費などの、現金支出を伴わない費用を含め、行政サービスの提供にどのくらいの経費が掛かったかというコスト情報は把握しづらい。これを補完するためのものだ。

問 平成25年度の財務4表によるまちの財政状況は。

答 財務課長 まちの資産総額は281億9千万円、負債総額は、61億7千万円、経常行政コストは56億円、

プライマリーバランスは1億円の黒字だ。

問 国が地方自治体の財政状況を分析した「財政状況資料集」の結果をどう考えるか。

答 財務課長 徴収税入が増加し、財政力も高く、少ない職員で人件費が抑制されているが、保育所運営委託料などの扶助費が増加しており、財政構造の弾力性では、類似団体中平均的だ。

まちの施設の老朽化比率は

適正値内の43%だ

問 まちの所有する施設の資産老朽化比率はどの程度か。

答 町長 適正値は、35%から50%とされ、まちは、43%だ。

問 公共施設などの減価償却費の累計額に対して、再整備に必要な資金がどれだけ用意されているかを示す、有形固定資産の更新資金の手当率は。

答 産業建設課長 幹線道路の58の橋梁については、点検を実施し、長寿命化計画を策定。上下水道課長 公共下水は、耐用年数に近い管がないことから、長寿命化計画は策定していない。10年以内に策定予定。

問 財務課長 29・4%で、類似団体との比較で高い値だ。

問 道路や下水道などの社会資本を維持管理し、提供していくことは地域社会のため必要不可欠だ。まちのインフラ長寿命化計画は。

答 財務課長 29・4%で、類似団体との比較で高い値だ。

問 関越側道で、脱輪事故が絶えないが、町長 夏場の除草の回数を増やすことや、標識などの設置についても協議したい。

問 関越側道で、脱輪事故が絶えないが、町長 夏場の除草の回数を増やすことや、標識などの設置についても協議したい。

問 関越側道で、脱輪事故が絶えないが、町長 夏場の除草の回数を増やすことや、標識などの設置についても協議したい。



交通安全対策が求められる関越道側道（下野田）

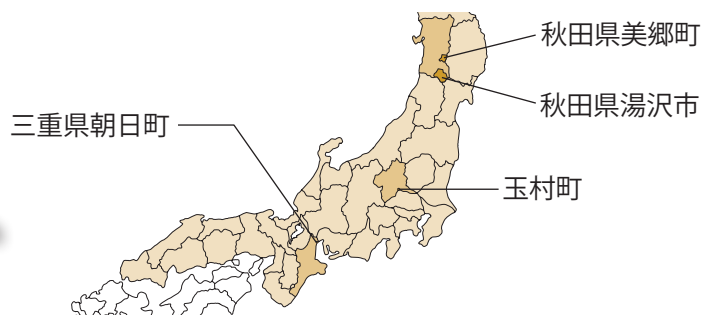
プライマリー
バランス

借入金を除いた歳入と借金返済金を除いた歳出の収支。黒字であれば借金に頼らず行政サービスを行っていることを示す。

財務4表

新地方公会計制度の財務書類。貸借対照表、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書で構成される。

委員会視察 レポート



総務常任委員会

秋田県

地熱発電と男女共同 参画の先進地に学ぶ

11月12日、13日、秋田県湯沢市と美郷町を視察研修しました。

1日目の湯沢市では、上の岱地熱発電所を視察し、自然エネルギーの必要性を再認識しました。発電機1基で湯沢市全戸の供給を満足することでした。

2日目の美郷町では、男女共同参画の取り組みについて研修しました。

美郷町では男女共同参画社会基本法の公布に基づき、平成17年度から平成26年度までの10年間に「第1次美郷町男女共同参画みさと計画」を策定。「美郷町男女共同参画住民懇話会設置要綱」を施行し、平成27年3月には平成33年までの「第2



上の岱地熱発電所

(委員長 山畑 祐男)

次みさと計画」を「住民参加の推進」の施策に位置付けて策定したとの説明でした。美郷町では、行政を取り巻く関係団体の男女の構成比率は半々にしているとのことでした。

まちでも早急に実施すべく委員一同意志を固めました。

議会広報常任委員会

平成27年度 町村議会 広報研修会

東京都

10月20日、21日に東京のシェーンバツハ・サボーにおいて、全国町村議会広報研修会が行われました。

20日には、広報コンサルタントの小田順子氏による「議会広報誌の文章『伝える広報』から『伝わる広報』へ」と題した講演と地域活性化センター広報室長の畠田千鶴氏による「思わず手に取る、読みたくなる、議会だよりを目指して」と題した講演がありました。

21日には、広報サポーターの芳野政明氏による「優良広報クリニク」が行われました。

住民に読まれる広報にするため、記事の内容を端的に示した「見出し」の重要

性や、短い文章で結論を先に書くなどといったテクニックを学びました。

講師は、編集・出版アドバイザーの芳野政明氏。午前中は「住民に読まれ議会活動が伝わる議会広報誌のチェックポイント」と題した講演でした。午後は、県内4町村の議会広報クリニクが行われました。

(委員長 坂田 一広)



平成27年度 町村議会広報研修会

群馬県町村議会 広報研修会

前橋市

11月27日、県市町村会館において、町村議会広報研修会が開催されました。

講演では、議事公開を始め、議会活動・情報が住民に伝わるまでが議会の仕事であるということを力説されていました。

クリニクでは、吉岡町の広報は、「レイアウト、見出しなど、編集技術は高い水準にある。企画の充実や読みやすさのいっそうの進化を期待する」との講評をいただきました。

今後も、いっそう住民に親しまれ、読みやすい広報紙を作っていきたい。

(委員長 坂田 一広)

人口増加と子どもの環境づくりを考える

10月27日、三重県朝日町を視察しました。

朝日町は、平成22年の国勢調査で人口増加率が35・3割と日本一人口が増加した町です。面積は5・99平方キロ、現在人口は1万367人です。

伊勢湾自動車道「みえ朝日IC」が開設し、大都市や工業地帯への交通の利便性が飛躍的に向上。丘陵地への住宅開発を進めたため、人口が増加しました。そんな中、子どもの数も増加。小学校は児童の急増に伴い、逐次プレハブ校舎を増築し対応していました。ただし現行の人口がピークで、今後は少子高齢化と共に

人口も減少に推移すると言われ、子どもの数も減少していくとのことでした。

子ども達への環境づくり（特に箱物づくり）は、先の見通しを考え緻密な計画の中で実施する必要性を痛感しました。

（委員長 馬場 周二）



幼保一体化施設「あさひ園」

下水道事業の概要を研修

11月18日、玉村町にある群馬県下水道総合事務所と上野田農業集落排水処理場を視察研修しました。

農業集落排水は、同じく、集落を単位とした比較的小規模な下水道事業です。まちは、汚水処理人口普及率が93・9割で、県内第5位、汚水処理率も89・5割で2位となっています。水質保全を図るため、今回の研修を生かしたい。

（委員長 岩崎 信幸）

汚泥処理に関しては、汚泥発生量年間約3万3千ト、発生汚泥はすべて場外搬出され、セメント原料、法面緑化に再利用されています。現在の処理能力で、十分に10市町村の処理を行っていけるとのことでした。



県央水質浄化センター（玉村町）

町村議会議員研修会

群馬県町村議会議長会主催の研修会が、10月30日、吉岡町文化センターで開催されました。

はじめに、首都大学東京准教授の山下祐介氏による「地方消滅の罟（増田レポート）」と人口減少社会の正体」と題した講演がありました。

増田レポートによると、2040年までに全国の市町村の半数が消滅するという

波紋に対し、地方を守るために必要な論理と再生に向けた道筋について話されました。

次に、伊藤塾塾長・弁護士伊藤真氏が「日本国憲法の理念」と題し、講演しました。

日本国憲法の基本理念は、憲法13条前段にあり、「すべての国民は、個人として尊重される」根本的価値はここにあるとのことでした。

今後の議会活動に生かします。

（議長 岸 祐次）



吉岡町文化センターで研修

まちの散歩道

92



いつの間にか弓道を習い始めて10年になりました。きっかけは「よしおか広報」で弓道教室の募集記事を見つけたことでした。それま

弓道との出会い

長塩 三枝子さん（漆原東）

で吉岡町に弓道場があるこ

とや、弓道部があつて活動していることなど全く知りませんでした。弓道なら運動クラブに所属したことのない私でもできるかもしれない。子育て、仕事から解放され、やっと自分の時間が持てるようになり、何でもやってみたいという時でしたので、すぐに参加を決

めました。

10回の体験教室の最後でようやく弓を引かせてもらい、矢を放てるようになるのと、せめて矢が的に当たるようになりたいという欲が出て入部することにしました。年会費6千円というのも魅力でした。本格的に練習して初めて分かったのは、その奥深さです。練習

してのに当てるだ

けの競技ではなかったのです。心と技と体が一体となった時、無心の矢が放たれ快音を響かせる。そんな射を目指し、練習に励みたいと思っています。



議会を傍聴して



伊藤 幸子さん（小倉）

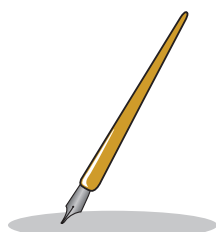
誇れる吉岡はここからも

12月8日、地元議員の一般質問を傍聴する機会を得

て、さまざまな計画や対策など活発な質疑、応答に驚きました。また新聞、テレビなどで問題の少子化、高齢化社会、子育て、医療など女性ならではの細かな質問に頭が下がりました。行政の方が数字などを挙げて答弁して下さいましたが「だから、どうする」というところを深く聞きたく思いま

した。議員の方々ははじめ、行政の方々の真剣さを体感し有意義でした。他町村の方から、吉岡の人口は何故増えるのか良く聞かれます。優越感を感じます。議会を傍聴して、誇れる吉岡はここからも生まれている、とも実感しました。これから皆さまの活動や知恵のもと、ますます自慢のできる

吉岡町をつくって下さることを期待したいと思えます。



私もひとこと

す。

しています。もう少し自治会の皆さんに興味を持ってもらい、多くの方と一緒に楽しめたら良いなと思っています。

年、定着しつつも今後継続していく難しさを感じています。もう少し自治会の皆さんに興味を持ってもらい、多くの方と一緒に楽しめたら良いなと思っています。

私とウォーキング



狩野 孝子さん（駒寄）

私達の駒寄自治会には皆

で体を動かし、健康寿命を延ばそうと取り組む「駒の会」があります。ウォーキング、筋トレ、ハイキング、パークゴルフなどを行っています。私もその会に参加しウォーキングや筋トレを始めました。赤城、榛名、子持山を眺めながら皆さんと歩くのは楽しいし、一人で桜や新緑、紅葉などを見ながら歩くのも楽しいものです。また、集会所で行う筋トレも皆ですること

よ し お か ク イ ズ No. 110

問1 一般質問は何人が行ったでしょう。

A. 6人 B. 8人 C. 9人

問2 防災用備品の備蓄倉庫は、役場以外で、町内に何箇所設置されているのでしょうか。

(山畑議員 一般質問より)

A. 6カ所 B. 7カ所 C. 8カ所

問3 マイナンバー制度が始まりました。番号カードの交付は何月からでしょう。

A. 1月 B. 3月 C. 4月

[応募方法]

○はがきに答えの記号(例1-A)、住所、氏名、年齢、職業(学校名)を書いてください。

○正解者の中から抽選で5人の方に、図書カードをプレゼントします。

○ご意見やご要望などもあわせてお寄せください。「お便りコーナー」で紹介します。

○あて先

〒370-3692

吉岡町大字下野田 560 番地 役場議会事務局

○締め切り 3月1日(当日消印有効)

前回の正解は1-A・2-C・3-Cでした。

応募者の中から、抽選の結果次の方に図書カードを贈ります。(敬称略)

- ・町田なを子(小 倉) ・加藤美保子(南 下)
- ・大倉 治雄(大久保) ・星野八重子(大久保)
- ・堀口 愛華(漆 原)

私もひとこと

そんな中、「地域の方々には子供達が見守られている安心感」を感じる出来事でした。人とのつながりを大切にする、田舎の良さが残るまちであってほしいです。

小学生の息子に、「学校帰りに『お帰りなさい』と声をかけてくれる人がいるんだけど、何て言えばいいのかな」と聞かれました。普段からあいさつはしている子だと思いますが、下校途中で「ただいま」と、応えるのは照れ臭いようです。「家族を迎えるように言ってくれるのだから『ありがとう』と話そうなずいていました。近年、吉岡町は急速に発展しています。まちが活性化するのは良いことですが、子育てをしていると、変わりがく交通事情や人間関係など気にかかる事も多いです。

共に研修

～視察の受入～

県外から吉岡町議会へ視察に訪れました。

とき	訪れた町村	視察内容
11月5日	福島県猪苗代町議会	議会の活性化への取り組みについて(議会インターネット中継について)
11月9日	埼玉県美里町議会	駒寄スマートIC周辺整備計画について
11月19日	長野県原村議会	議会だよりの編集について



福島県猪苗代町議会

皆さんの傍聴をお待ちしています

次の定例会は3月上旬に始まります。
会議は9時30分からです。
ぜひお越しください。



小林 洋一さん
(小倉)

一言の安心感

キラリよしおか古語り③

いにしえ



地域の人の心のヨリドコロ



霊験あらたか

利根川は別名を坂東太郎、洪水が多く暴れ坂東とも言われた。古来、利根川は北橋町の橋山西側から前橋市立鎌倉中周辺を通り、前橋市の東側を流れていたが、洪水により利根川西岸地域の侵食が進んだ。当時、上毛大橋付近の地名は、漆原村川原島新田。名のように水田であった。その水田にも洪水が迫っていた。元禄期に水害防止に、不動明王を安置祈願した。これが川原田不動尊である。場所は上毛大橋から漆原に下る道、右側にある。数基の赤い鳥居がありすぐ分かる。

元禄期以後、多々の大洪水があったが、不動尊は難を逃れた。しかし昭和36年2月に火災にあって焼失、再建に当たり周辺の賛助者の協力を得て、その年4月には御堂が建ち、世話人によって管理され

祀ったお不動様
暴れ坂東を鎮めるために

た。正月28日の初不動は多くの露天が立ち、参詣者が大勢集まり、福引きその他で、賑わいを見せる。

現在、お不動様は昔ほどの賑わいは無いが、新組織で運営され毎月28日の縁日には、お堂が開かれている。先日、幼子の病気のために祈願した若いお母さんが、治癒した御礼にのぼり旗を奉納した。暴れ坂東に睨みを利かせたお不動様、今は地域の人に災いが無いように睨みを利かせている。

追伸

春には、桜の花見でお茶会が開かれてます。一服どうぞ。

参考文献：「川原田不動尊調査報告書」
「吉岡村誌」

編集後記

明けましておめでとうございませう。昨年は線状降水帯の影響で鬼怒川が決壊。大きな被害がありました。吉岡町も、いつどんな災害が降りかかるかわかりません。まちでも、防災計画を見直し町民の防災意識を高めるために努力しています。備えあれば憂いなし。この平穏な時にこそ、備えていくことが大事ではないでしょうか。

議会でも、地域問題、防災対策、男女共同参画、まちの財政、AED設置など、さまざまな問題が一般質問されました。そんな議会の様子や活動をお伝えするため、これからも皆さまにご愛読いただける、分かり易い議会だよりを編集できるように委員一同励んでまいります。そのためにも皆さまのご意見・ご要望などをいただければ幸いです。

(村越 哲志)

編集委員

委員長 坂田 一広
副委員長 金谷 康弘
委員 村越 哲夫
委員 竹内 憲明
委員 柴崎 徳一郎
委員 大林 裕子
委員 富岡 大志